



注目ポイント

- ✓先週、市場では米景気指標の強さを受けてFRBの利下げ観測が若干後退気味に。米金利上昇と日米金利差の拡大を背景にドル円は円安ドル高が進行。国内長期金利は、米長期金利の上昇につられて小幅に上昇。一方、日経平均は、米株高や円安、自民党総裁選による財政拡張期待を支えに連日のように高値を更新したが、週末には米利下げ期待の後退を受け反落。
- ✓今週、ドル円は米利下げ観測が後退する中で方向感に乏しい展開が想定される。自民党総裁選を控え、積極的な円買いも入りにくい。国内金利は、日銀の利上げ観測や次期政権の財政拡張期待を背景に低下しにくい環境。10年国債入札(2日)で、需給を確認することに。日経平均は、半期末期初の益出し売りで上値が抑えられると予想される。また、米雇用統計(3日)や自民党総裁選(4日)を控え、もみ合いが続きそうだ。
- (門倉英司)

2025年9月22日 ~ 2025年9月26日

市場・指標			9月22日 ~ 9月26日		9月26日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
株式	日本	日経平均 (円)	45,825	45,194	45,355	+309	+0.7%	
	米国	NYダウ (ドル)	46,714	45,785	46,247	-68	-0.1%	
	ドイツ	DAX (ポイント)	23,756	23,384	23,739	+100	+0.4%	

市場・指標			9月22日 ~ 9月26日		9月26日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			最高	最低	終値	変化幅(%)	
金利 (国債)	日本	10年 (%)	1.665	1.640	1.655	+0.020	
	米国	10年 (%)	4.20	4.10	4.18	+0.05	
	ドイツ	10年 (%)	2.78	2.73	2.75	-0.00	

市場・指標			9月22日 ~ 9月26日		9月26日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	変化幅(円)	
為替	米ドル (円)		149.96	147.46	149.49	+1.54	
	ユーロ (円)		175.05	173.67	174.95	+1.14	
	豪ドル (円)		98.23	97.25	97.87	+0.32	

市場・指標			9月22日 ~ 9月26日		9月26日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
その他	日本	東証リート (ポイント)	1,947	1,923	1,947	+15	+0.8%	
	米国	NY原油 (ドル)	66.42	61.85	65.72	+3.0	+4.9%	
		NY金 (ドル)	3,825	3,718	3,809	+103	+2.8%	

(注) Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成。 休日・休場の場合は、その前営業日の値を使用して作成してあります。

②マーケット動向(振り返り&予想)

2025年9月29日 ~ 2025年10月3日

株式

もみ合いか

日経平均
【予想レンジ】 44,800 円 ~ 46,000 円

- 先週の日経平均は小幅上昇。米株高や円安、自民党総裁選での財政拡張期待を背景に、日経平均は25日まで3営業日連続で高値を更新。指数寄与度の高いソフトバンクGが、巨額AI関連投資を材料に高値を更新したことが日経平均の上昇にも一役買った。しかし、週末26日は米利下げ観測の後退から、米株同様に反落して取引終了。
- 今週の日経平均はもみ合いか。半期末期初の投資家の益出し売りが上値を抑えると予想される中、日経平均が上値迫りするには、FRBによる追加利下げ期待の高まりが不可欠。しかしFOMC以降に発表された底堅い米経済指標(GDP等)により、その期待は若干低下している。その上でも、今週は雇用統計(3日)に注目が集まる。引き続き雇用の減速感が確認されれば、追加利下げへの期待が再度高まることに。

金利
(国債)

強含み(上昇)もみ合いか

10年国債利回り
【予想レンジ】 1.630 % ~ 1.700 %

- 先週の国内金利は、小幅上昇。週初には、日銀の追加利上げ観測や米金利上昇を背景に、10年国債利回りが約17年ぶりに、一時1.665%まで上昇する場面も。市場では自民党総裁選とイールドカーブの関係では、「小泉候補優勢=フラットニング」、「高市候補優勢=スティーピング」という思惑が動き、短中期や超長期の金利が激しく変動した割には、長期金利は小幅の動きだった。
- 今週の国内金利は、強含み(上昇)もみ合いか。米利下げ観測が若干後退する中、日銀の利上げ観測や次期政権の財政拡張が意識されることから、国内金利は低下しにくい状況。週末に米雇用統計、自民党総裁選を控え、様子見姿勢が広がることも想定されるが、10年国債入札(2日)で足元の需給状況を確認したい。

為替
(米ドル)

方向感なくもみ合いか

米ドル/円
【予想レンジ】 148.00 円 ~ 151.00 円

- 先週のドル円は、大幅に円安ドル高が進展。米国の経済指標(新築住宅販売やGDP確定値等)が市場予想を上回り、米景気の底堅さが意識され、FRBの連続利下げ観測が後退気味に。結果、米長期金利が上昇し、日米金利差の拡大が意識され、ドル買いが優勢な展開に。26日には、一時1ドル=149円96銭まで円安ドル高が進んだ。
- 今週のドル円は、方向感なくもみ合いか。米国の追加利下げ期待については、週末に雇用統計を控える中、大きく変化しないと予想される。一方、日銀の利上げ観測については、日銀短観(1日)の結果次第で、市場の期待が高まる可能性はある。ただし、やはり週末に自民党総裁選を控えているため、積極的に円を買う動きは控えられるだろう。よって円高の進行余地も限定的か。

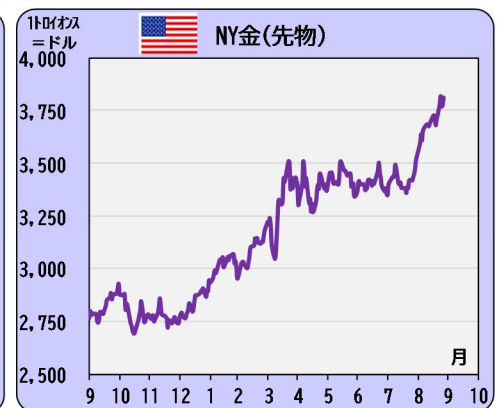
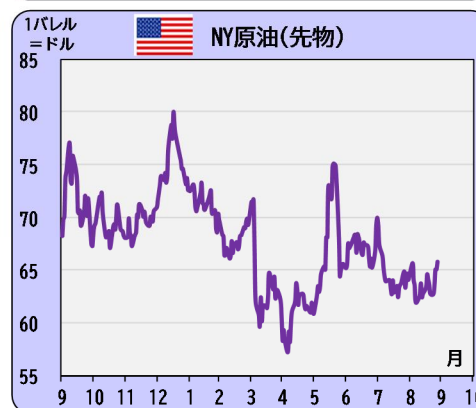
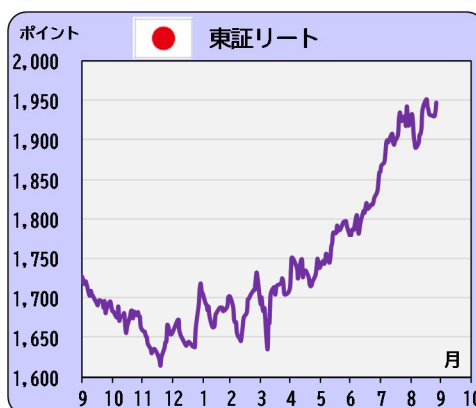
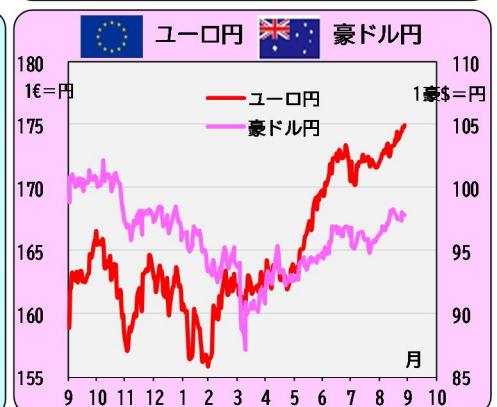
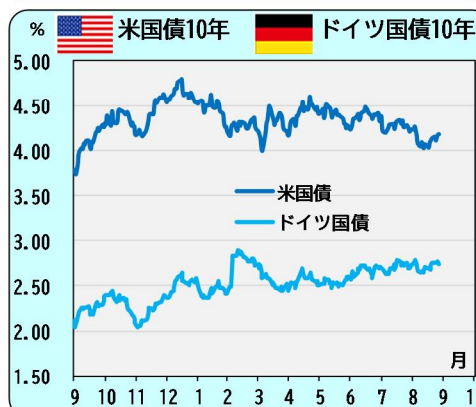
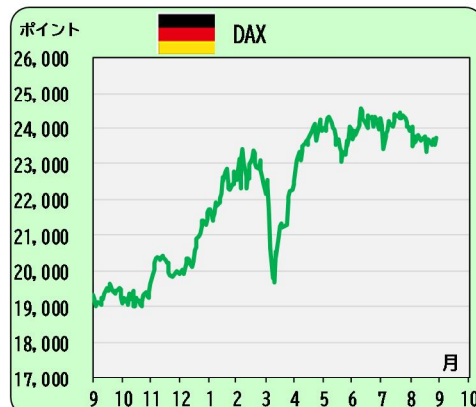
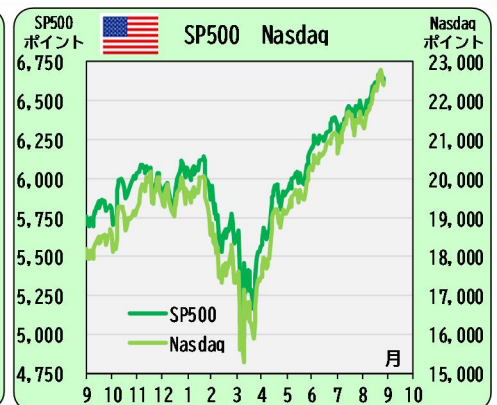
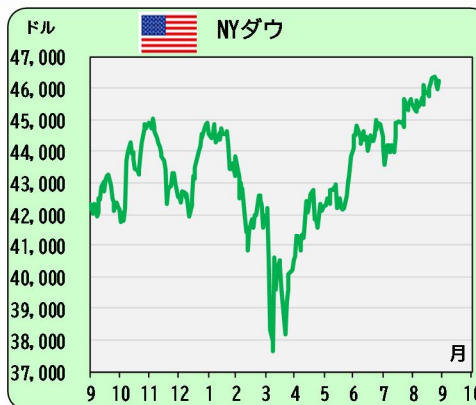
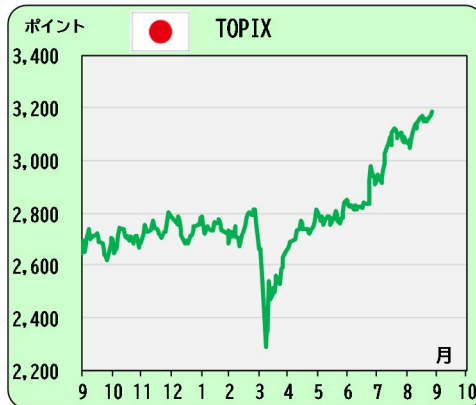


○今週の注指標 ※内容および日程が変更される場合があります。

月日	国内	海外
9/29(月)		
9/30(火)	日銀金融政策決定会合主な意見(9月開催分)公表 国債入札(2年) 鉱工業生産指数(8月)	米国: S&Pケースシラー住宅価格指数(7月) 米国: コンファレンスボード消費者信頼感指数(9月)
10/1(水)	日銀短観(2025年9月調査)	米国: ISM製造業景況指数(9月)
10/2(木)	国債入札(10年)	
10/3(金)	完全失業率(8月)	米国: 雇用統計(9月) 米国: ISM非製造業景況指数(9月)

③その他チャート集

直近1年間



※頻出英字略称用語一覧

略称	正式名称	略称	正式名称	略称	正式名称
AI	人工知能	FRB	米連邦準備理事会	PCE	個人消費支出
CTA	商品投資顧問	FTA	自由貿易協定	PER	株価収益率
CTFC	米商品先物取引委員会	GDP	国内総生産	PMI	購買担当者景気指数
CPI	消費者物価指数	IMF	国際通貨基金	PPI	卸売物価指数(生産者物価指数)
ECB	欧州中央銀行	IEA	国際エネルギー機関	SQ	特別清算指数
ETF	上場投資信託	ISM	米供給管理協会	TPP	環太平洋経済連携協定
EU	欧州連合	OECD	経済協力開発機構	WSTS	世界半導体市場統計
FDI	海外直接投資	OPEC	石油輸出国機構	WTI	ウエストテキサスインターメディアート(原油)
FF	フェデラルファンド	OPEC+	OPEC加盟国と非加盟国の枠組み		
FOMC	米公開市場委員会	PBR	株価純資産倍率		

●ご留意事項

- ・本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、発行日午前9時までの情報にもとづく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源にもとづいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。最終的な投資判断はお客さまご自身でなさるようお願いいたします。
- ・本レポートに関するお問い合わせは浜銀総合研究所・調査部までお願いいたします。